

経営比較分析表（令和6年度決算）

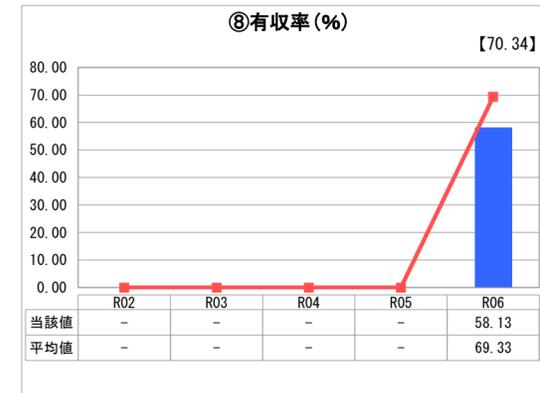
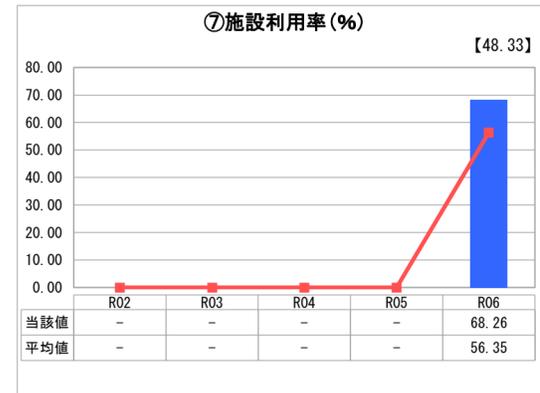
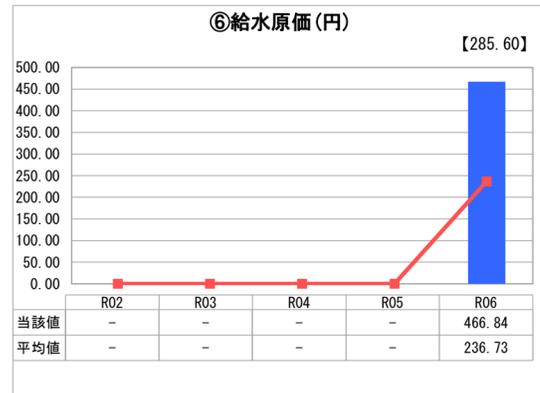
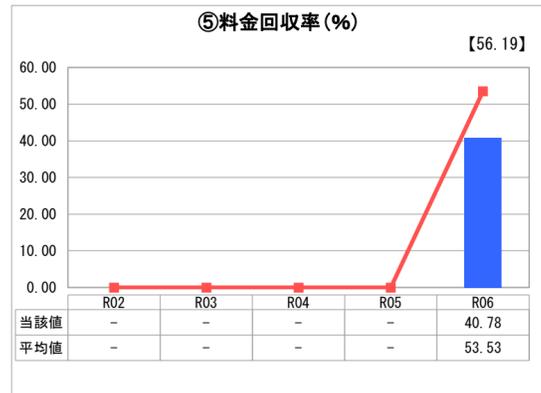
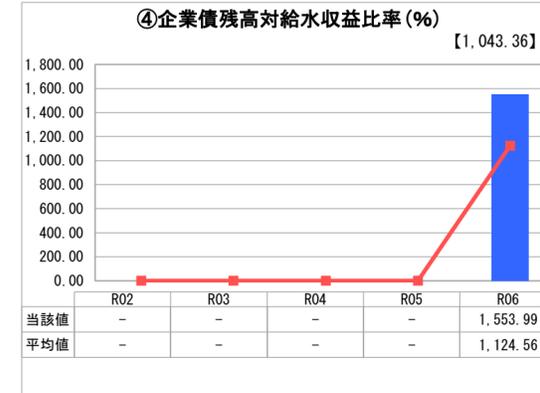
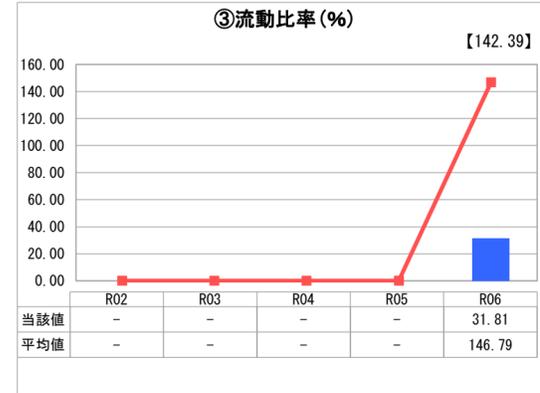
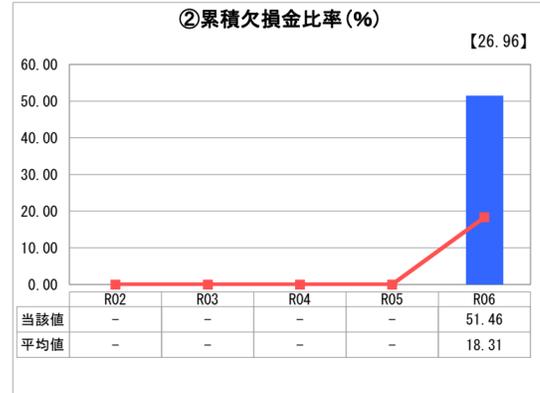
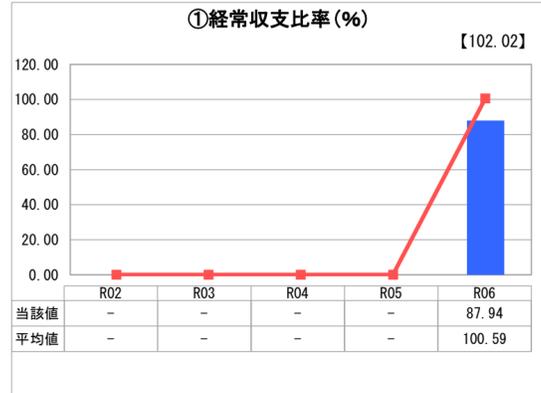
岐阜県 白川町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	簡易水道事業	C2	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	55.95	98.36	3,581	

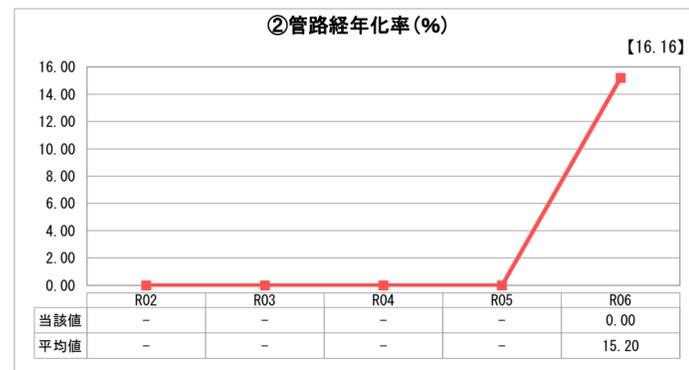
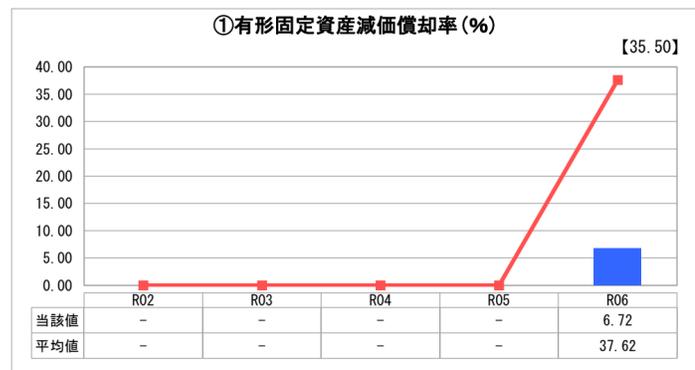
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
6,914	237.90	29.06
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
6,823	35.60	191.66

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
【	令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

類似団体と比べると、全体的に平均値より下回っており、累積欠損金比率が平均値より大幅に上回っているため料金の見直しが必要である。また、有収率についても60%を下回っているため、給水原価や施設利用率にも影響しており向上へ重点的に務める必要がある。地域特性として住居が山間部に点在しており、水道施設のダウンサイジングの効果が限定的なため、管路更新事業で多額の財源を有する。今後簡易水道の統廃合が行われるので、財政状況を考慮しつつ事業の縮小等を行っていく。

2. 老朽化の状況について

水道施設（配水池）は順次更新行っているが、布設から30年が経過する管路は、主要道路（国道・県道）は铸铁管を使用しているが、主要な管種は塩ビ管（VP管）や給水管はポリエチレン層管（PP管）で、老朽化により漏水が多く給水原価の高騰に関連しており、施設更新の事業計画の進め方については、簡易水道の統廃合と併せて、熟慮を要する。現在漏水が多発する区間については、順次置き換えを行っているが、財源の確保が厳しく計画通りに進んでいるとは言い難い。

全体総括

令和6年度より公営企業会計を適用しているため、6年度以前と比較は行いかねるが、類似団体と比較すると、全体的に平均値より下回っている状況であり、平均値に近づけていくことができるような財政運用を見直す必要がある。